

会長 やまもと けいこ
山元 恵子

座右の銘
諦めたら
そこですべてが
終わってしまう!!



スタッフのやる気を出すためには

ものごとや仕事をしていく上では、さまざまな課題や、予期せぬ出来事に遭遇しますが、それを理由に自分自身が「諦めて」しまったらそこで終わってしまいます。そこからどうしたらうまくいくか、①新しい方法を考える、②ほかの方法を組み合わせる。選択肢はこの2つです。言われたままに仕事をするのは作業員。仕事は自分で工夫してやると本気になります。

副会長 ほんだ ひろこ
本田 浩子

座右の銘
心掛けていることとして、
Cool Head but Warm Heart
「冷静な頭脳 温かい心(情熱)」



スタッフのやる気を出すためには

やる気を持つために、キャリアステップが見えていることや自己重要感等が重要だと思います。

面接場面や日常の業務を通して、専門職としての経験や目標を把握し、個人の特性に応じた育成プランと一緒に立てます。必要な研修を提案し、OJTの中でできたことは褒め、できなかった際は振り返るなどフィードバックします。

副会長 まつもと ひろこ
松本 弘子

座右の銘
ものは考えよう



スタッフのやる気を出すためには

スタッフを信頼し認め、やりがいを持って働くことができるようにすることだと思います。そうして日々成長し学ぶことで、自身のキャリアを築いていく。それは患者・家族をはじめとする多くの人の健康に貢献することにつながります。あなたはそういった素晴らしい資格を持っているのです!

副会長 さの ひろこ
佐野 廣子

座右の銘
雲外蒼天



スタッフのやる気を出すためには

仕事の先にある「希望」への支援。誰かの役に立てるという実感、人としての成長、生活の安定など人によって違うものであっても、その希望に向かって進むことが大切。その支援にあたっては「やってみせ、言って聞かせてさせてみて褒めてやらねば人は動かじ。…やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず」を心掛けています。

専務理事 わたなべ ちかこ
渡邊 千香子

座右の銘
まず行動し後で考える



スタッフのやる気を出すためには

座右の銘にある言葉は、私がモットーとしていて経験を踏まえて人に勧めてきました。考えて行動することはもちろん必要ですが、いつまで考えても何も始まらないし、生まれないし、変わらないと思っています。要はバランスで、考えるだけで動かないとか、動いただけで考えないのが一番問題ですが…。

常務理事 おおはし すみえ
大橋 純江

座右の銘
教えることは学ぶこと



スタッフのやる気を出すためには

組織やチームでは、自分のやりたい仕事ばかりではありませんが、人として切片に光る部分を持っています。例えば、相手の仕事を理解する力、効率性を高める力など、役割分担していても組織全体として自分を活かすことを実行している時は褒めるようにしています。時に留まり考えることも必要ですが、その時間を可能な限り短縮できるためのジャッジやヒントを絶え間なく注ぐことが私の仕事です。

常務理事 さがわ きよみ
佐川 きよみ

座右の銘
三顧の礼



スタッフのやる気を出すためには

三顧の礼は三国時代、劉備玄德が諸葛孔明を迎えるために三度訪ねたとする故事です。

この故事は、相手に礼を尽くすことだけではなく、諦めないことを伝えているのではないのでしょうか。1回でうまくいかなかったら、その失敗から学ぶことが成功に導くことだと思います。諦めないで、粘り強くがんばりましょう。

never give up !

財政担当理事 ふじの きょうこ
藤野 恭子

座右の銘
継続は力なり



スタッフのやる気を出すためには

まず自分自身が元気であること、笑顔であること。

そして1日1回はスタッフと会話すること、スタッフを承認すること、一人ひとりのスタッフの個性と向き合うように支援することを心掛けています。看護師としてのやりがいや看護の魅力モチベーションのもとに引き出せるよう努めています。

保健師職能理事 かぐらおか すみ
神楽岡 澄

座右の銘
置かれた場所で咲く



スタッフのやる気を出すためには

今いる場所で自分にできることを一生懸命やる。仕事は先手必勝を意識して取り組む。一見相反しているように感じますが、言われてやるより先に計画したほうが、先が見えます。ポジティブになれるし、やる気も出る。気持ちや時間に余裕が持てると周囲との関係も良くなります。意識の持ちようが自分の環境をより良いものにします。

助産師職能理事 こびやま あつこ
小檜山 敦子

座右の銘
人の生くるは直し



スタッフのやる気を出すためには

私は「愛情の対義語は無関心」という言葉を大切にしています。また、人に対して常に誠実でありたいと思っています。それは、愛情と誠実さがなければ、人の心に自分の思いが届くことはないと思うからです。そのため、相手に「やる気」など何かを求めるのではなく、相手へ関心と真心を持って向き合うようにしています。

役員紹介

看護師職能理事 なかのひろみ 中野 博美

座右の銘
危機は転機、そして好機に

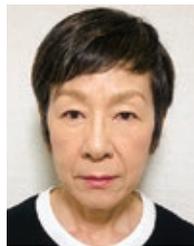


スタッフのやる気を出すためには

苦しい時ほど、前を向き、仲間と密に情報を共有し、笑顔で声を掛け合う。失敗も許し合い、それぞれが大きな心で受け止める。そして、柔軟な思考で、新しいものごとの見方を見つけ出し変化を起こす行動が大切です。失敗を恐れず、一歩前が出る。後ろで支えていますから、安心して進みましょう。

准看護師理事 いとう 伊藤 ちえ

座右の銘
人の振り見て我が振り直せ



スタッフのやる気を出すためには

准看護師理事として2年目になります。初めての大会に、会長やそのほか理事の方々に助けていただきながら1年が過ぎました。昨年からの新型コロナウイルス感染蔓延により、看護職や看護協会が注目され、活動に興味を持った方が増えたように思います。今年度も引き続き、協会の活動のお手伝いのできればと思っています。よろしくお願いいたします。

東部地区理事 さくま 佐久間 あゆみ

座右の銘
暗いと不平を言うよりも、あなたが進んで明かりをつけなさい



スタッフのやる気を出すためには

気をつけているのは「承認」と「目指す状態を言葉にすること」。
承認では、相手の良いところ（特に仕事に結びつく、活かされている点）をエピソードを交えて伝えること、さらに周囲の評価や感謝の言葉を伝える間接承認も意図的に行います。
目指す状態は、病院や病棟という場合もありますが、患者さんを主語に伝えるようにしています。

西部地区理事 おおぬまふくこ 大沼 扶久子

座右の銘
楽しんでやらなければ
何事も身につかない



スタッフのやる気を出すためには

自分が主任時代の時に上司から「後輩が自分を超えていく時にはそれを喜び支援しなさい」と言われたことがあります。そのことを心掛けスタッフがやりたいこと、目指したいことをチャレンジできるようにサポートしています。
そして私の信条として、相手に対しては自分の価値観で評価・判断しないことです。

南部地区理事 さとうみか 佐藤 美加

座右の銘
迅速果断



スタッフのやる気を出すためには

「個人の承認」「個人を尊重する」こと。その人が大事に思っていること、興味のあること、チーム内での役割、良いところ（好ましい部分）などを見つける。また、その人を認めている・頼りにしている・期待していることを対峙して、しっかり伝える・役割を与えることが信頼関係を築く要。ON・OFFを上手に使った現場にしています。

中部地区理事 きむら 木村 ひづる

座右の銘
「時勢に応じて自分を変革しろ」～坂本龍馬～
時代の変化に対応できるよう学び、常に自分を変革させ続けていかなければ！と気づかされます。



スタッフのやる気を出すためには

スタッフが、質の高い看護を提供し組織に貢献できるよう、組織目標を共有し、個々の目標達成に向けてその成長を支援する。まず、安心してイキイキと働くことができるよう、環境を整えること。そして、日頃からスタッフ一人ひとりをよく見ること、個人面談では、看護実践の「がんばり」を認め、伝えることがやる気につながると考えています。

多摩北地区理事 **伊東 恵美子**

座右の銘
初心忘るべからず



スタッフのやる気を出すためには

感謝とねぎらいを込めてあいさつをする。
課題を明確に示しスタッフを信頼し、任せること。任せたことへの情報を共有し、行動に対し見守り、フィードバックをする。良い結果や気づきに対し具体的に褒める。失敗に対しては結果ではなく、挑戦したことに対し評価を行う。
振り返りを行い共感し、共に学ぶ姿勢を示す、ことだと思っています。

多摩南地区理事 **池亀 俊美**

座右の銘
人間到る処青山あり



スタッフのやる気を出すためには

今、何に興味があるのか？なぜそう思うのか？スタッフにとって、良き聴き上手となり、発見と気づきを促す質問をすることです。それは、スタッフの自尊心を高めるやりとりとなり、適切なフィードバックをもらうこと、時に苦言を呈してくれることがスタッフのやる気につながると思います。

監事 **川上 潤子**

座右の銘
「転禍為福」(災い転じて福となす)



スタッフのやる気を出すためには

コロナ禍の「職員の安全確保を第一にする」という組織の方針をわかりやすく伝えること。またまだ先のことは考えられない状況ですが、この状況下で患者を真摯に看護しているスタッフ全員に感謝の気持ちと支援を具現化していきたいと考えます。そして、自分たちの未来、今後のキャリアを描けるよう、組織、看護部の道筋を提示していきたいと思えます。

監事 **山内 豊明**

座右の銘
神よ 我らに与えたまえ
変えることのできないものを受け入れる
冷静さと変えるべきものについてそれを
変える勇気とこの両者を識別することの
できる智恵とを。



スタッフのやる気を出すためには

「おだてるのではなく、褒める」
おだてるのは楽なこと、褒めるためには相手の行動や思いを深く知る必要があります。
「怒るのではなく、叱る」
怒るのは自己の感情コントロールができないみっともない姿、相手を思う気持ちがあって初めて叱ることができるのです。

監事 **笠田 朋宏**

座右の銘
命長ければ恥多し



スタッフのやる気を出すためには

「スタッフのやる気を出すためには？」と、スタッフから直接聞き出すことでしょうか。十人十色なので各人モチベーションは違うはずですが、できるだけスタッフの意見を尊重してあげることでしょうか。
もちろん、このように話し合える組織風土は当然ながら必要になると思います。

常務理事 **黒田 美喜子**

座右の銘

一所懸命（一生は長く辛いので一つ所を懸命に）



退任あいさつ

平成28年6月より常務理事として事業係、千駄木訪問看護ステーション、会員係を担当いたしました。特に、会員係として中小規模の病院を訪問した際には、各看護部長さんの熱意に感激したことが鮮明に思い出されます。そして、そのことがそれぞれの事業に大きく役立つことになりました。

COVID-19拡大に伴い衛生資材の不足の際は、各施設の管理者の皆さまの苦悩が目に見え、一刻も早くお届けしたいと事業部一丸となって発送作業を行いました。

これからもさまざまな難題に直面することもあるかと思いますが、東京都看護協会の駆動力を持って乗り越えていくことを確信しております。

これまで委員会や事業におきまして、多くの方のご支援をいただきましたことを感謝申し上げ、東京都看護協会がさらに発展いたしますことを願っております。

助産師職能理事 **菊地 敦子**

座右の銘

努力あるのみ



退任あいさつ

助産師職能理事としての4年間、山元会長様はじめ東京都看護協会の理事の皆さま、職員の皆さまには、過大なるご指導とご支援を賜りました。また、都内の助産師の皆さまから、たくさんのご協力もいただきました。心からお礼を申し上げます。理事としての経験は、私の誇りであり財産となりました。

コロナ禍において、妊産褥や新生児、その家族へのきめ細やかな支援を実践していくことが大きな役割と認識しています。今後も、これまでの経験を活かして役割を発揮できるように、努力していきたいと思っております。そして、コロナ禍の状況が収束し、人々が健康で充実した日々を過ごすことができる日が1日でも早く訪れることを心から願っております。

南部地区理事 **佐藤 文江**

座右の銘

努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る



退任あいさつ

地区理事として4年間、大変お世話になりました。南部地区を中心に、会員の皆さまとの交流や看護職と地域との関わり方を模索し活動してきました。まちの保健室の活動や、病院と訪問看護ステーションとの連携を強めるための出前講座、コロナ禍で地域住民の方々に情報提供する試みなどを行ってきました。

この4年間で、東京都看護協会の活動は多岐にわたる内容の濃いものであることを改めてみてきました。協会の活動を多くの会員にお知らせし参加していただくところに力が及ばなかったと思いますが、自分自身は多くを学び感謝しております。

今後、東京都看護協会がさらに発展するよう、一会員として参加していきたいと思っております。

監事 **小澁 高清**

座右の銘

覚悟に勝る決断はなし



退任あいさつ

「監事の任期を終えて」

このたび、2021年6月の定時総会をもちまして監事を退任いたしました。この2期8年は、私の人生にとって多くの皆さまと出会い、掛け替えのない時間を過ごさせていただきました。任期中の大きな出来事と言えば、看護の「知の拠点」として素晴らしい新会館竣工が無事に行われたこと、さらに未曾有の新型コロナウイルス感染症に対し、東京都看護協会は医療従事者の中心的な存在としてご活躍され、世間の方からも絶大なる感謝と信頼を得たことは非常に印象的です。このような団体に関わられたことを本当に誇りに思います。皆さまのますますのご活躍、ご発展を祈願して退任の言葉とさせていただきます。本当にお世話になりました。